

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 ヤマザワ  
 コード番号 9993 URL <http://www.yamazawa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森 美博  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 023-631-2211

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	22,538	—	637	—	639	—	285	—
20年3月期第1四半期	22,651	2.2	712	△3.4	710	△4.7	321	△24.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	26.24	—
20年3月期第1四半期	29.55	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第1四半期	38,340	—	24,644	—	64.3	2,264.51
20年3月期	39,233	—	24,495	—	62.4	2,250.77

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 24,644百万円 20年3月期 24,495百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
20年3月期	—	13.50	—	—	13.50	27.00
21年3月期	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	13.50	—	—	13.50	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	46,500	—	1,500	—	1,500	—	800	—	73.51
通期	92,000	1.1	2,900	0.9	2,900	0.0	1,550	2.7	142.43

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 10,960,825株 20年3月期 10,960,825株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 77,992株 20年3月期 77,867株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 10,882,919株 20年3月期第1四半期 10,874,568株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項は、添付資料の2～3ページをご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題による米国経済の減速や金融市場の変動、更に原油・穀物価格の高騰に伴う物価上昇などから、先行き不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましても、競合の新規出店、企業間の価格競争、また食の安心・安全を揺るがす事件など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては「**地域のお客様に繰り返し来店していただける店づくり**」に取り組むとともに、2年目となりました**中期経営計画**に基づいた施策の実行・検証を繰り返し行なっております。

販売面におきましては、月間を通し特別価格で奉仕する「**生活応援セール**」をはじめ、「**月のはじめの元気市**」、「**おどろきのびっくり価格**」、「**水曜均一セール**」などを開催、また相次ぐ商品値上げに対しての「**価格凍結**」や新たな企画として、「**”8”のつく日のヤマザワハッピーデー**」と称して**価格訴求**を行なうなどスーパーマーケット事業部門及びドラッグ事業部門での販売強化を行なってまいりました。

商品面におきましては、「**地産地消**」の更なる推進のため、青果部門では**地場野菜コーナー**の店舗展開を拡大し、精肉部門においても山形牛の市場直接買い付けを行なうなど地元商品の販売拡大に努めております。商品開発におきましても、当社惣菜部門並びにグループ会社(株)サンコー食品共々健康志向に配慮した弁当、惣菜の開発を積極的行なっております。

これらの結果、当第1四半期の連結売上高は225億38百万円(前年同期比0.5%減)、連結営業利益は6億37百万円(同10.5%減)、連結経常利益は6億39百万円(同10.0%減)、連結四半期純利益は2億85百万円(同11.1%減)となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は383億40百万円となり、前連結会計年度末と比較し8億93百万円の減少となりました。

資産の部においては、商品等の増加はありましたが、店舗建築代金等の支払等による現金及び預金の減少、減価償却等による建物及び構築物の減少等となりました。

負債の部においては、買掛金等の増加はありましたが未払法人税等、未払金、賞与引当金及び長期借入金金の減少等となりました。

なお、純資産は246億44百万円となり、自己資本比率は64.3%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 1 四半期における現金及び現金同等物の残高は 39 億 65 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 9 億 88 百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは 60 百万円となり、前年同四半期に比べて 2 億 72 百万円減少しました。これは主に税金等調整前四半期純利益は増加しましたが、たな卸資産の増加及び法人税等の支払額の増加等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは 5 億 93 百万円の支出となりました。これは主に前連結会計年度の新店舗建築工事代金の支払等による有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは 4 億 55 百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済及び配当金の支払等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 21 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 20 年 5 月 8 日公表の業績予想に変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号）を当第 1 四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益の低下による簿価切り下げの方法）に変更しております。なお、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 5 年 6 月 17 日 最終改正平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準第 13 号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成 6 年 1 月 18 日 最終改正平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準適用指針第 16 号）を当第 1 四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第1 四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
<b>(資産の部)</b>		
<b>I 流動資産</b>		
1. 現金及び預金	4,335,263	5,323,702
2. 受取手形及び売掛金	480,613	469,233
3. 商品	3,596,134	3,246,589
4. 製品	3,064	2,582
5. 原材料	25,994	24,476
6. 仕掛品	847	615
7. その他	1,200,169	1,408,258
8. 貸倒引当金	△4,884	△5,015
流動資産合計	9,637,203	10,470,443
<b>II 固定資産</b>		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	9,818,906	10,016,381
(2) 土地	12,886,771	12,858,771
(3) その他	1,461,837	1,425,967
有形固定資産合計	24,167,515	24,301,121
2. 無形固定資産	751,176	718,773
3. 投資その他の資産	3,784,531	3,743,204
固定資産合計	28,703,223	28,763,099
資産合計	38,340,426	39,233,542

(単位：千円)

科 目	当第1 四半期 連結会計期間末 (平成 20 年 6 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
	金 額	金 額
<b>(負債の部)</b>		
<b>I 流動負債</b>		
1. 支払手形及び買掛金	6, 294, 672	5, 759, 165
2. 短期借入金	1, 200, 000	1, 250, 000
3. 1年内返済予定長期借入金	520, 000	528, 000
4. 未払法人税等	193, 751	712, 694
5. 賞与引当金	125, 791	440, 500
6. 役員賞与引当金	11, 150	37, 900
7. ポイント費用引当金	347, 406	338, 581
8. 商品券回収損失引当金	54, 491	54, 491
9. その他	3, 118, 568	3, 604, 196
流動負債合計	11, 865, 832	12, 725, 528
<b>II 固定負債</b>		
1. 長期借入金	250, 000	500, 000
2. 退職給付引当金	394, 748	394, 613
3. 役員退職慰労引当金	423, 182	417, 682
4. その他	762, 403	700, 688
固定負債合計	1, 830, 334	2, 012, 984
負債合計	13, 696, 166	14, 738, 513
<b>(純資産の部)</b>		
<b>I 株主資本</b>		
1. 資本金	2, 388, 717	2, 388, 717
2. 資本剰余金	2, 205, 087	2, 205, 087
3. 利益剰余金	20, 130, 050	19, 991, 398
4. 自己株式	△88, 611	△88, 432
株主資本合計	24, 635, 243	24, 496, 770
<b>II 評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	9, 016	△1, 741
評価・換算差額等合計	9, 016	△1, 741
純資産合計	24, 644, 259	24, 495, 029
負債、純資産合計	38, 340, 426	39, 233, 542

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第 1 四半期連結累計期間
	自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日
	金 額
<b>I 売上高</b>	22,538,915
<b>II 売上原価</b>	16,216,825
売上総利益	6,322,089
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	
給与手当	2,052,488
賞与引当金繰入額	109,292
役員賞与引当金繰入額	9,750
退職給付引当金繰入額	22,412
役員退職慰労引当金繰入額	5,500
ポイント費用引当金繰入額	347,406
減価償却費	258,696
その他	2,878,747
販売費及び一般管理費合計	5,684,294
営業利益	637,795
<b>IV 営業外収益</b>	
受取利息	2,146
受取配当金	5,038
その他	9,068
営業外収益合計	16,253
<b>V 営業外費用</b>	
支払利息	9,147
その他	5,486
営業外費用合計	14,633
経常利益	639,414
<b>VI 特別利益</b>	
貸倒引当金戻入益	131
特別利益合計	131
<b>VII 特別損失</b>	
固定資産除却損	21
減損損失	19,935
特別損失合計	19,956
税金等調整前四半期純利益	619,589
法人税、住民税及び事業税	236,329
法人税等調整額	97,688
四半期純利益	285,571

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
区 分	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	619,589
減価償却費	284,078
減損損失	19,935
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△314,708
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△366,511
仕入債務の増減額 (△は減少)	535,507
その他	44,314
小 計	822,204
法人税等の支払額他	△761,929
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	60,275
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△559,566
保証金・敷金の支払による支出	△27,255
保証金・敷金の返還による収入	9,629
その他	△16,422
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△593,615
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000
長期借入金の返済額	△258,000
配当金の支払額	△146,919
その他	△179
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	△455,099
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	△988,439
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	4,953,675
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	3,965,236



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 1 2 号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 1 4 号) を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に伴い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

## [参考資料]

## 前第 1 四半期に係る財務諸表

## (1) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)
	金 額
<b>I 売上高</b>	22,651,701
<b>II 売上原価</b>	16,323,853
売上総利益	6,327,847
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	
給与手当	2,027,776
賞与引当金繰入額	146,051
役員賞与引当金繰入額	10,900
退職給付引当金繰入額	28,800
役員退職慰労引当金繰入額	5,100
ポイント費用引当金繰入額	372,359
減価償却費	249,434
その他	2,775,093
販売費及び一般管理費合計	5,615,516
営業利益	712,331
<b>IV 営業外収益</b>	
受取利息	2,127
受取配当金	4,961
その他の営業外収益	7,964
営業外収益合計	15,053
<b>V 営業外費用</b>	
支払利息	9,798
その他の営業外費用	6,917
営業外費用合計	16,715
経常利益	710,669
<b>VI 特別損失</b>	
固定資産除却損	986
減損損失	92,568
その他の特別損失	53,361
特別損失合計	146,916
税金等調整前四半期純利益	563,752
税金費用	242,413
四半期純利益	321,339

## (2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)
区 分	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	563,752
減価償却費	274,994
減損損失	92,568
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△286,748
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△237,456
仕入債務の増減額 (△は減少)	529,509
その他	105,495
小 計	1,042,115
法人税等の支払額他	△709,430
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>332,685</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△716,014
保証金・敷金の支払による支出	△11,432
保証金・敷金の返還による収入	7,913
その他	△900
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△720,434</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済額	△258,000
配当金の支払額	△122,315
その他	11,033
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△369,282</b>
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△757,031</b>
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>5,417,332</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>4,660,300</b>